

令和4年度 第1回 総合教育会議 会議録

開催日時	令和4年6月14日(火) 午後1時30分から午後3時30分				
開催場所	本庁舎 602・603会議室				
会議出席状況	市長	相馬 憲一	出席		
	教育長				
	教育委員	深澤 道昭	出席	川上 聖子	出席
		小林 朋子	出席	森 泉	出席
		渡邊 英憲	出席		
	事務局	教育部長	大森 忠夫	教育総務課長	高野 浩行
		文化振興課長	長 竜也	国体推進課長	大島 実
		政策推進課長	磯 雅史	教育総務課 (事務局)	伊東 佳子 須藤 奨

次 第

- 1 開 会 午後1時30分～
- 2 あいさつ 市 長
- 3 委員紹介
- 4 議 題
 - (1) 市長の市政運営方針について
 - (2) 大田原市総合計画基本計画(後期)「おおたわら国造りプラン」について
 - (3) 第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」に向けた準備の進捗状況について
- 5 研 修
 標 題 大田原市史セミナー「明治・大正期の大田原市街の様相」
 講 師 大田原市史編さん委員会専門部会委員 金井 忠夫 氏
- 6 その他
- 7 閉 会 午後3時30分
- 8 会議要旨 次のとおり

令和4年度 第1回 大田原市総合教育会議 発言要旨

令和4年6月14日（火）

開会 （午後1時30分～）

○教育総務課長

定刻となりましたので、ただいまから、令和4年度第1回大田原市総合教育会議を開会いたします。

本日の進行を務めさせていただきます、教育総務課長の高野でございます。よろしくお願いいたします。

初めに、本会議の主催者であります相馬市長よりあいさつを申し上げます。

○市 長

（市長 あいさつ）

大田原市総合教育会議の開催にあたり、教育委員の皆様にはご多忙の中ご出席いただき心から御礼申し上げます。また、本市の教育行政につきまして日頃より特段のご理解とご協力をいただいておりますことに重ねて御礼申し上げます。

本会議は平成27年に改正されました地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づきまして、教育委員の皆様と市長である私が十分な意思疎通を図り、連携して教育行政に取り組むために設けられた会議でございます。

この会議を通しまして皆様からの意見をいただきながら、本市の教育の課題やあるべき姿を共有し、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できる教育環境の実現を目指して参りたいと思います。

さて、本日の会議でございますが、まず初めに私が市長として目指すもの、これからの大田原市をどのようにしていきたいのか、市政の方針についてお話をさせていただきます。

次に今年度からスタートしました「大田原市総合計画後期基本計画について」と秋に本番を迎えます「第77回いちご一会栃木国体について」を議題といたします。

最後に市史編さん委員会専門部会の金井委員より明治・大正期の市史編さんの調査報告をしていただきます。

本日は有意義な会議となりますよう皆様宜しく願いいたします。

○教育総務課長

ありがとうございました。

続いて次第の3 委員紹介となりますが、今回は相馬市長が就任されて初めての会議となりますので委員の皆様から自己紹介をお願いいたします。

○教育委員

（各委員 自己紹介）

○教育総務課長

ありがとうございました。

それでは、次第の4 議題に移ります。ここからの議事進行は、本会議設置要綱の規定に基づき、相馬市長にお願いいたします。宜しくお願いいたします。

○市 長

円滑な議事運営に努めさせていただきますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

本日の議題は、次第に記載のとおり3件でございます。

まず初めに、(1)「市長の市政運営方針」につきまして、私からお話をさせていただきます。

○市 長

私の選挙公約が中心となりますが、重ねてお聞きいただければと思います。

去る3月20日に執行されました大田原市長選挙におきまして、市民の皆様から信任をいただきまして、第7代大田原市長に就任をさせていただきました。支援していただきました皆様に心から感謝を申し上げますとともに、市の舵取りという重責を担うこととなり身の引き締まる思いでございます。

私は今回の市長選挙を通して市民の皆様にご約束をさせていただきました。

- ・財政健全化
- ・生命を守る
- ・子どもの未来を守る
- ・まちを盛り上げる
- ・歴史を生かした観光地づくり

これらの公約を着実に実行することで市民の皆様が誇りを持てる市、幸せを感じられる市を作り上げるため全身全霊を捧げて市政運営に取り組んで参りますので宜しくお願いいたします。

説明は以上となりますが、ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

○深澤委員

財政健全化について第三者委員会の答申はいつ頃を予定していますか。また、その期間について伺います。

○市 長

第三者委員会につきましては、どのような方にお願ひするかは明日からの一般質問で明らかになると思います。外部の方にお願ひしますと報酬をお支払いしなければなりませんので、条例と補正予算をあわせて議会に上程しております。

議会のご承認がいただけたら、すぐに委員会を立ち上げたいと考えております。期間は2年間を予定しており、年に5回の委員会を開催していきたいと考えております。私といたしましては、2年の期間を経てから提言をいただくのではなく、令和5年度の予算編成に間に合うように、中間報告も含め提言の一部をいただければありがたいと思っております。

○深澤委員

教育委員会の各事業につきましては、前市長もかなり力を入れていただいていると感じておりました。

相馬市長におかれましても将来を担う子どもたちに対して深い思いがあるかと思しますので、より一層の教育委員会への支援指導をお願いしたいと思しますので宜しくお願いいたします。

○市 長

5月の連休明けに校長先生を始め教職員の皆様に講話をさせていただきました。

デジタル社会ということでG I G Aスクール構想の推進もありますが、私が子供のころに印象に残っていることということで、河原に行ったことや望遠鏡をのぞいて月のクレーターを見たことなど、子どもたちが自身で体験して驚くような、記憶に残るような教育ができればとお話しさせていただきました。

先ほど古墳の話もでしたが、身近なところに大きな前方後方墳や国宝である国造碑がございますので、子どもたちには早い時期にそれらを見て触れて、郷土に誇りを持っていただければと思います。郷土を思う心を育みながら、子どもたちが感動するような経験をさせていければと思っております。

教育には力を入れていきますので、宜しく申し上げます。

○渡邊委員

1点目は教員の働き方改革の一環としての部活動についてです。

部活動をどうするかという議論が国から降りてきていますが、部活動を無くせば教員の仕事が減るわけではないと思っております。他の自治体では、事務補助員を採用している例もありますが、そのような職員採用の仕方はいかがでしょうか。

また、クラブチームに入りたいがクラブチームがない、クラブチームはあるが送迎が難しいといった場合もあります。一方で部活動に加えてクラブチームにも入りたいなど様々なケースがあり、市としても対応が難しいと思いますが、頑張っていたいただきたいと思えます。

現在、黒羽中学校ではソフトボールが盛んですが、気の引き締まった部活動があると学校全体の模範となり、学校全体が引き締まります。時代遅れかもしれませんが、そのような傾向は普遍的にあると思しますので、部活動を地域に移行するとしても学校は全く関係ないという形にならないようにしていただきたいと思えます。

もう1点は多角的な取り組みを行っていただきたいと考えております。

大田原市では市外から不登校の子を受け入れた例があり、受け入れて1年が経過しましたがうまくいっているようです。教育を前提とすることはもちろんですが、この例のように教育以外の様々な要素を絡めていく必要があると思っております。

例えば、小規模校に都会の子が転入すれば、空き家、少子化、複式学校などの問題が解決できるというメリットがありますし、そのような課題に取り組んでいる市のイメージというのも重要であるか

と思います。このように、教育に何かをプラスするような多角的な取り組みをお願いしたいと思います。

○市 長

一つ目の部活動のあり方につきまして、部活動で活躍し全国大会に進んだ時には、進学率も良くなるという話を聞いたことがあります。因果関係は分かりませんが、やはり部活動で頑張っている姿をみて、自分たちも頑張ろうと勉強に励み、その結果が進学率に結びついているのであろうと思います。

部活動の指導は、学校の先生がよいのか地域の方をお招きして指導していただくのがよいのか様々な考え方はありますが、基本にあるのは子どもたちと保護者の皆様だと考えておりますので、現場の声を聴きながら対応していただきたいと思っています。

部活動以外の働き方改革についてですが、各種調査やアンケートが先生の負担となっており、本来なら授業準備に充てたい時間をその対応に追われてしまっているようです。学校現場の声を聴きながら判断していきたいと思っています。補助員を配置するというのも一つの方法だと考えておりますので、学校現場の先生や教育委員会全体としての方向性などの意見をお伺いしながら、予算が必要であれば予算措置をしていきたいと考えております。

二つ目のご質問についてですが、大規模校や小規模校にはそれぞれの良さがあると考えております。小規模校だから廃校にするのではなく、小規模校ならではの良さを生かしていきたいと考えております。特に地域に1校しかない地区では、小学校が地域コミュニティの中心であると考えておりますので、小規模特認校の制度を使いながら、各地域に1校は学校を残したいと考えております。

○渡邊委員

小規模校はなくすわけにいかないから現状のまま残すということではなく、多角的な取り組みをしながら小規模校を上手に活用していければと考えております。

今まで大規模校は小規模校と比較すると何かと有利だと思っていましたが、ICT教育については小規模校の方が大規模校より進んでいるという状況になっています。このようにシステムの変化によって変化した面もでてきていますので、今後も注視していきたいと思います。

○市 長

小規模特認校に別の学区から通われているお子さんもいると聞いております。環境が変われば伸び伸びと過ごせる子もおりますので、そのような環境が整うようにしっかりと支援をしたいと思っています。

○市 長

次に、議題（2）大田原市総合計画 基本計画（後期）「おおたわら国造りプラン」について、事務局の説明をお願いいたします。

- 政策推進課長 (磯政策推進課長 説明)
- 市 長 事務局の説明が終わりましたので、協議に入ります。ただいまの説明に対し、質問やご意見などはございますか。
- 川上委員 市の将来像のキャッチフレーズ「知恵と愛のある協働互恵のまち大田原」が大好きなので、可能であれば継続してもらいたいと思います。
私は廃校となった蜂巢小でカフェを運営しておりますので、蜂巢小の歴史を紐解こうと思いましたが、資料が残っていませんでした。
施設や史跡も大切ですが、学校の歴史についても、本・書類・デジタル資料などでできるだけ残していくことが必要だと思っております。今後、まだ残っている学校の歴史に関する書籍などを大切に保管しておくべきだと思います。
- 市 長 各学校の卒業アルバムについては近くにお住まいの方々にお借りしてスキャンしておくほか、学校に関する資料は地域の歴史を語るものになりますので収集にも努めてまいります。
- 川上委員 卒業アルバムなどは収集できるかと思いますが、蜂巢小が創立した昭和7年頃やそれ以前の記録の収集は難しいかと思えます。
- 政策推進課長 将来像のキャッチフレーズについては簡潔でわかりやすい良いキャッチフレーズだと私も思っておりますが、次期構想で使用するかは市長の意向も含めて検討することとなります。
資料の収集について、現在、旧片田小の利活用を考えており資料の収集をしていますが、やはり資料が残っておらず近隣の旧片田小の先生や地域の方に問い合わせる収集に努めておりますが、なかなか難しいと感じております。
学校の歴史について、資料などをどのように残していくかについては教育委員会にお任せしたいと思っております。
- 小林委員 私も総合計画審議会の委員として参加させていただいておりました。会議を行うにあたって、各分野の専門の方からの意見や、細かな言い回しなども追求されながら、この冊子が出来上がって大変なご苦労だったかと思えます。
- 市 長 ほかに質問や意見はないようですので、以上で（２）大田原市総合計画 基本計画（後期）「おおたわら国造りプラン」についての協議を終了します。
次に、議題（３）第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」に向けた準備の進捗状況について、事務局の説明をお願いいたします。

○国体推進課長

(大島国体推進課長 説明)

1. 国体出場チーム数及び申込期限等
2. 国体関連募集案件
3. 宿泊施設の状況
4. 会場設営撤去
5. 会場装飾
6. 会場整備
7. 弁当調製施設
8. 輸送計画
9. 参加記念品
10. 炬火

○市 長

事務局の説明が終わりましたので、協議に入ります。ただいまの説明に対し、質問やご意見などはございますか。

○市 長

質問や意見はないようですので、以上をもちまして議事に関する協議を終了させていただきます。

滞りなく議事を進行することができましたことに感謝申し上げます。ここからの進行は事務局にお願いいたします。

また、誠に申し訳ありませんが公務が控えておりましてここで退席させていただきます。

皆様のご協力ありがとうございました。

○教育総務課長

それでは、次第の5の研修に移ります。

大田原市史セミナー「明治・大正期の大田原市街の様相」を標題といたしまして、大田原市史編さん委員会専門部会委員の金井忠夫氏よりご講話いただきます。

○金井氏

(金井忠夫氏 講話)

○教育総務課長

ありがとうございました。

以上をもちまして研修を終了いたします。

あわせまして、第1回総合教育会議を終了させていただきます。お疲れ様でした。

閉会

(午後3時30分)